

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	4-2202
研究課題名	希少植物の発芽実生が自生地に定着するために必要な生理生態解析とリアルタイムモニタリング技術の開発研究
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	京都大学
研究代表者名	瀬戸口 浩彰

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

本研究は、小笠原諸島父島、母島において、これまで発芽実生による次世代更新が困難であった希少植物種3種（ムニンノボタン、コバトベラ、タイヨウフウトウカズラ）を対象として、これらの実生苗が健全に生育するための無機的环境条件、植物体に共生・寄生する土壤真菌類や周辺の植生との関係を明らかにするとともに、離島の遠隔地から実生苗と無機的环境条件をモニタリングするシステムを開発するものであり、世界自然遺産小笠原諸島における希少種の保護増殖事業という行政課題に大きく貢献する成果を挙げた。今後、本研究で開発されたモニタリングシステムが、研究・実証段階から、社会実装段階に移り、希少種の保全に活用されることを期待したい。